

# 京都文教大学の学士力（KBU学士力）

専攻する学部・学科にかかわらず、大学卒業までに学生が身につけるべき能力を定義したものを「学士力」といいます。京都文教大学では、建学の理念に基づき、学士力を以下のように定めています。

## 1. 共生社会を実現できる力（社会的価値創造力）

共生社会（自他共に幸せを感じられる人間関係・社会組織・地域社会）という新たな価値を創り出す力。これは「菩薩力」と言い換えることも可能である。

## 2. どんな場面でも役に立つ知力（汎用的知力）

基盤となる教養と専門的知識、またそれらを応用して問題を解決する力（情報処理力・考察力・構想力）。

## 3. 現場で必要とされる力（現場実践力）

現実社会の様々な場面で必要とされる力。具体的には、他者に対する共感力・協働力・対話力、社会に対する社会的責任・倫理観・適応力、課題に対する分析力・企画立案力・実行力をいう。

## 4. 自分自身と向き合う力（自己対峙力）

自分自身と向かい合う力（自省力・向上心・持続力）。これがすべての力の基盤となる。

### ◇ 相互の関係

自己対峙力を基盤とし、汎用的知力と現場実践力との相互作用（往復運動）を通じて、最終的に社会的価値創造力を獲得する。これを構造化すると、次のようになる。

